

アウトドアと留萌(まち)の未来～モンベル誘致を目指して～

シリーズ② どうして留萌でアウトドア観光なの？ (後編)



「私が書きました！」
留萌市地域振興部
経済港湾課観光振興係
主事「片山」史麻

前月号は、人口減少によって、地域のお店・会社の元気がなくなって、今住んでいる私たちの生活もどんどん不便になってしまっているので、観光客など、地域の外から来てくれる方々にそこを支えてもらおうという話でした。

Q. 「観光客」じゃなくて、市役所が直接支援すれば良いんじゃない？

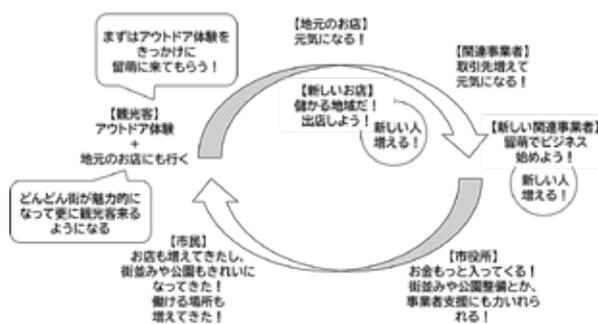
A. お店が減って、人が減っていくと、市役所のお金も少なくなっていく、その分、公園の整備など、これまでの行政サービスにお金を使えなくなるところが出てきます。市役所の応援だけでは市民の暮らしを守るのに限界があります。

Q. だからってなんで観光？

A. 図を見てください。このように観光客に来てもらうことで、どんどん市民の生活も豊かになって、より良いまちにしていきたいというのが留萌市の思いです。

Q. でも留萌市ってなにもないまちだよ。もともと観光地じゃないし…。

A. 留萌には、美しい海と山、豊かな自然があります。しかし、ただ単に自然を楽しんでもらうのでは、地域の稼ぎ＝地域の元気につながりません。そこで、まだ、知られていない、自分たちで気づいていない留萌の魅力のひとつである、自然を生かしたアウトドア体験などを売りにして観光客に来てもらい、更にはまちなかにも立ち寄ってもらうことで、地域を元気にしていくための仕組みづくりに今取り組んでいます。



問 市・経済港湾課 ☎ 42-1840

災害への備え⑤8

「準備しておきましょう！ 災害情報取得手段！」

災害はいつ、どこで発生するかわかりません。そのため実際に災害が発生してしまうと、恐怖や焦りなどから冷静な判断ができなくなることがあります。

災害時でも焦らず、冷静な判断を行えるようにするには、適切なタイミングで正しい情報を取得することが重要です。

◆災害情報を取得する

携帯電話やスマートフォンなどで下記のように検索してみましょう。

気象庁 防災情報



留萌市 ホームページ



○各種災害の警報や危険度、被害の発生状況や、避難所の開設情報などを確認することができます。

※その他、ラジオや防災アプリなどからも災害情報を得ることができます。

◆様々な情報取得手段を準備しておく

上記のように災害情報はテレビだけでなく、ラジオや携帯電話、スマートフォンなどからも得ることができます。「テレビが使えないときはラジオ！」というように平時から自分自身が使いやすい情報取得手段を準備しておくことが大切です。

問 市・危機対策室 ☎ 56-5005